

## 既存住宅への 最新ホウ酸劣化対策技術

木造住宅の主な劣化原因である腐れと蟻害は、木材腐朽菌とシロアリという木材劣化生物によってもたらされる。木造住宅を長生きさせるためには、これら“どこにでもいる”木材劣化生物を制御することが重要となるが、ホウ酸を使ってこれらを制御する劣化対策技術が「re Borate (リボレイト)」である。

わが国ではこれまで、木造住宅劣化対策に合成殺虫剤が使用されてきた。しかし、平成23年9月にホウ酸薬剤が(公社)日本木材保存協会に認定(JIS K 1571附属書A(規定))されたことから、にわかにホウ酸処理に注目が集まってきた。

### 三つの技術

「re Borate (リボレイト)」は、次の三つの技術で構成されている。

#### 1) インスペクション

床下や室内、外周を調査し、腐朽や蟻害の劣化診断を行う。インスペクションによって、処理方法の方針が検討される。

#### 2) 駆除処理

インスペクションによってシロアリの生息が確認された場合、駆除処理を行う。

- 地下シロアリ駆除：イエシロアリ、ヤマトシロアリの被害箇所周辺の土壌(基礎の外側)に合成殺虫剤で土壌穿孔注入処理を行うとともに、被害のある木部とその周辺にホウ酸(商品名：ティンボアPCO)20%水溶液の吹付けおよび木部穿孔注入処理を行う。
- 乾材シロアリ駆除：アメリカカンザイシロアリのコロニー(巣)にホウ酸20%水溶液の木部穿孔注入処理を行う。

#### 3) 予防処理

- 床下処理：床下の処理できる木部と基礎立上がりなどにホウ酸20%水溶液の吹付け処理を行う。
- ダस्टィング処理：小屋裏や天井裏、壁体内などにホウ酸粉体の散粉処理を行う。コンプレッサーで散粉されるホウ酸は、処理空間の隅々にまで拡散



軒裏のダस्टィング処理



木材に付着したホウ酸粉体

小屋裏のダस्टィング処理

後、木部に付着する。侵入したシロアリや不快害虫は、手足に付着したホウ酸をグルーミング(体を清潔に保つために舐める行為)で体内に取り込み、死滅する。

### 日本唯一のホウ酸散粉処理「ダस्टィング処理」

日本ボレイトが展開している日本唯一のホウ酸散粉処理技術が「ダस्टィング処理」である。本処理方法は、ホウ酸水溶液の吹付けが不適な既存住宅の小屋裏、壁体内などの構造材をホウ酸処理する劣化対策技術である。

ダस्टィング処理の優位性は、特に乾材シロアリ対策で発揮される。家屋中に幾多ものコロニーを形成する乾材シロアリを一度に短期間で駆除することは困難である。駆除しきれないで残ったコロニーから群飛した有翅虫(羽アリ)が新たなコロニーを形成する。そこにダस्टィング処理されたホウ酸粉体があると、手足に付着したホウ酸を摂取した有翅虫は死滅し、新たなコロニーの形成を防ぐことができる。

【日本ボレイト(株) 広報部 TEL 03-6659-5785】